

まじは!!

「幻を書き記せ」

「この幻を書き記せ。一目で分かるように板の上にはっきりと記せ。」

(ハバクク書 第2章2節・旧約聖書1443頁)

はじめに

預言書は、神から選ばれた預言者に語られた言葉を書き記したものです。しかし、このハバクク書は少し違い、預言者の方から神に問いかけ、そこで語られた神の言葉を記した書物です。考えてみると、信仰生活において、神が語る前に、私たちは神に訴え、その答えを求めていることが多いような気がします。私たちはどうしても神の言葉を聞く前に、自分の願い求めることを訴え、そして神の答えを待たずに祈りをやめてしまうことが多いように思います。そのため、神からの取り扱いが少ないような気がするのですが、このハバククの姿勢を見ると、私たちに通じるようなものがあります。

ハバククは何を問い、どのような答えをいただいていたのかをみながら、私たちの信仰姿勢を見直したいと思います。

ハバククの訴え

まず、私たちは神に訴えることを知っていることに感謝しましょう。もし訴える先が間違っていたり、そもそも訴える存在がなかった場合、必ず何らかのトラブルが引き起こされます。同じ悩みを抱えている人間に窮状を訴えても、慰められることはあっても解決はしません。もし、神に訴えることを知っているならば、神がその訴えを受け止めてくださることで、私たちに安心が与えられていきます。ハバククは神に訴えました。そこに救いが開かれるのです。

何を訴えたのか

では、ハバククは何を訴えたのでしょうか。

当時の国は不正がはびこっていました。すべてを力で解決するような暴力的行為が横行しているながら、神は何もされていないではないかと、ハバククは思い悩み、「あなたはこの横暴をゆるしているのですか」「あなたの正義はどこにあるのですか」と訴えたのでした。私たちが今見聞きしている世界情勢に通じます。「神は何をしているのか」との怒りを含んだような感情を、ハバククは神にぶつけました。

神からの答え

ハバククと私たちの違いは、神からの答えを聞か聞かないかではないかと思います。私たちは神に訴えるものの、その答えを聞こうとしません。しかし、ハバククは神からの答えに耳を傾けます。神が言われたのは「この幻を書き記せ」、つまり「今、私はあなたにはっきりと示すから、それを心に刻め」です。同時にハバククは天の王座に座り、全地を統治される主を見ました。神は不在なのではなく、沈黙しているのではなく、様子を見ておられたことをはっきりと知るのです(2:20)。略奪する者、不正な利益をむさぼる者、暴力で町を奪おうとする者、隣人を辱める者、そして偶像礼拝をする者。それらの者たちへの裁きがなされようとすることを知ります。人を裁くのは人ではなく、神です。必ず神が裁かれる。私たちは自分を律し、すべてを神にお任せすべきなのです。詩編37編にみる姿勢です。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】

右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「主は私に答えられた。『この幻を書き記せ。一目で分かるように板の上にはっきりと記せ。この幻は、なお、定めのため 終わりの時について告げるもので 人を欺くことはない。たとえ、遅くなっても待ち望め。それは必ず来る。遅れることはない。見よ、高慢な者を。その心は正しくない。しかし、正しき人はその信仰によって生きる。』…しかし、主はその聖なる神殿におられる。全地よ、主の前に沈黙せよ。」(ハバクク書 2:2～4、20)
「悪をなす者に怒りを燃やすな。不正を働く者



を妬むな。彼らは草のように瞬く間に枯れ 緑の若草のようにしおれる。主に信頼し、善を行え。地に住み、真実を育め。主を喜びとせよ。

主はあなたの心の願いをかなえてくださる。あなたの道を主に任せよ。主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる。主はあなたの正義を光のように あなたの公正を真昼のように輝かす。主の前に沈黙し、主を待ち望め。」(詩編 37:1～7)

神さま、あなたはすべての悪をご存じです。私はあなたに信頼し、静かにあなたのなすことを待ちます。御名によって祈ります。アーメン。

深読みにチャレンジ！

箴言 (113) 第5章17節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「その水を自分だけのものとし あなたのものといるよその者に渡してはならない。」

◎口語訳 「それを自分だけのものとし、他人を共にあずからせてはならない。」

◎新改訳 「それを自分だけのものにせよ。あなたのところにいる外国人のものにするな。」

「よそ者」

16節と同様に、夫婦関係、そして夫婦を中心として築かれている家庭を守るようにとの教えですが、16節よりも強く、自分が守るべき存在なのだと語られています。

渡してはならない存在として、「あなたのものといるよその者」が挙げられています。この一連の箇所では「よその女」が外国の女性を指し、「誘惑する者の象徴」だと解説をしましたが、その流れで考えると、自分の家庭の中に外国人がいるような印象を受けます。少なくとも、自分の居住地の中に外国人がいたのではないかと考えられます。確かにイスラエルの中に外国人は存在していますので、そう考えられなくはありません。

ここで使われているヘブライ語に注目すると、「よそ者」と訳されている言葉は、外国人と言うよりも「他人」とか「部外者」を指す言葉とし

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
 - c アグルの言葉 (30:1～33)
 - d レムエルの言葉 (31:1～31)

て多く使われてる「ザール」という語です。つまり新改訳の「外国人」は深読みしすぎた訳になります。普通、外国人はイスラエルに定住し、律法で保護すべき存在となっている寄留者を指す「ゲール」という語か、外国人、異邦人と訳される「ノクリー」のどちらかです。そこから判断すると、外国人に渡すなということではなく、同胞、普段交流のある近所の人たち、仲の良い友だちも含んだ「他人」であることがわかります。家族も神が与えられた恵みです。大切にしたいと思います。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈祷課題」も祈る。

【月曜日】◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

詩編第81編11節「私は主、あなたの神 エジプトの地からあなたを上らせた者。口を大きく開けよ、私はそれを満たそう。」◆神に祈りながら、「ほんとうにかなうかどうかわからないから、あまり期待しないでおこう」などと思っていないか。ほしかったら、「ほしい」と叫べ。かなえてほしかったならば必死で願え。神は神の民をエジプトから脱出させたように、罪深い私を救ってくださったのではないか。これは上西かできない奇跡である。その方に向かって私たちが口をいっぱいに広げたら、その口に合うだけのみわざをなしてくださる。大いに期待しよう。

●賛美／214 ●祈祷課題

◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。

◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

詩編第82編1節「神は神の集いの中に立ち 神々の間で裁きを下される。」◆おもしろい表現であるが、森羅万象のすべてを治められている神であることを示している。この世の中には様々な「権威」が存在している。それは人間が定めたものではあるが、その権威の下にあって束縛されることが多いし、悩みもまた生じる。そのような時、彼らもまた、全世界を統治されている神の前では、裁かれる存在でしかないことを覚えるべきである。この世の権威の上に立つ御方が、私の味方であるとしたら、私たちはなぜ悩む必要があるのか。

●賛美／215 ●祈祷課題

◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会（聖書配布）、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

詩編第83編2節「神よ、沈黙しないでください。神よ、押し黙らないでください。静まり返らないでください。」◆詩編を読みながら、自分のように気の短い人が多いのだと思ったことがある。おそらく一番短気なのは自分だ。祈ってもすぐ聞いてくれない。5分前に祈ったのにまだ何もしてくれないのかと怒る。まったくただをこねる子どものようだが、神は意地悪で何もされないのではない。すでにその祈りを聞いて、かなえる最善のタイミングを待っておられるのだ。その神の前に、私たちこそが沈黙し、静まって神がなされることを見ていくべきである。

●賛美／216 ●祈祷課題

◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように

◆宗教法人を取得できるように

◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

詩編第84編7節「嘆きの谷を通る者たちはそこを泉に変えます。秋の雨がそこをまた祝福で覆います。」◆「嘆き」はもみの木の一種、パルサムともいい、強い香りの油が取れる。樹液が涙のようにしたたるところから、「泣く」「嘆く」象徴とされていた。他の訳では「涙の谷」などと訳している。私たちは暗い谷に置かれているように嘆き、泣く者である。しかし、そこが神の都シオンに向かう大路であることを忘れてはならない。私たちが神の恵みを慕って歩む、その歩みの中で、そこは泉ある所として変えられていく。

●賛美／217 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

詩編第85編9節「主なる神が何を語られるかを聞こう。主は平和を語られる その民に、忠実な人たちに。彼らが愚かさに戻らないように。」◆神は常に私たちにメッセージを語られる。まず周波数を合わせるように、神に心に向け、そのメッセージを受け取る姿勢を持たせていただく。そこで語られるのは、「平和」である。真の平和とは何か、それは神との関係の修復である。この世は神との平和が築けていないから、人同士、国同士に争いが起こる。まず神との平和を築くことである。神は私たちとの間に平和を求めておられる。

●賛美／218 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

詩編第86編10節「まことに、あなたは大きいなる方 奇しき業をなさる方。あなただけが神。」◆この世にある神々は人間が作ったものである。これだけ高度な文明を持ち、学問を持っているにもかかわらず、神を作り出そうとするのは、心に空虚さ不安がつきまとうからだ。神の大きいなるみわざを見るべきだ。この大自然がどのように造られたのか。神以外には造り得ない御業を見、また私たちの信仰生活で味わった驚くべき奇跡の体験を見るならば、聖書の神こそが真の神であることがわかるだろう。神は生きておられ、今日も私たちにくすしきみわざをなされる。

●賛美／219 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

詩編第87編1節「主が礎を築いた都は聖なる山々の上にある。」◆神の都シオンは、この時代は神殿が立っていたエルサレムを指していたが、この詩は、神に選ばれた民たちが集められ、憩う場所、天をも指し示している。私たちは、主を信じている者であり、その命もまた主のものである。神を賛美しつつ歩みながら、この神の都に至ることを願う。そのためにも主を基とした生活を続けていかななくてはならない。そして、私たちの旅がそこまで続くことを覚えながら、さまざまな困難にも打ち勝っていかなければならない。

●賛美／220 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしよ

●きょうのせいしよ

【しとげんこうろく 15:1 ~ 35】

「リストラ での でんどう」

(エフェソのしんとへのてがみ 2 : 8)

パウロは、がいこくのひとたちが ふくいんを うけいれて よろこんでいるようすを みて、もっと おおくのひとたちに つたえなければならぬと おもいました。イエスさまの ふくいんは どこにすんでいても、どんなひとでも すくわれる すばらしい おしえです。

パウロは これからも いろいろなところにてかけて つたえていこうと おもっていたのですが、イエスさまを しんじた ユダヤじんの なかに、「かみさまを しんじたのだから、わたしたちと おなじように、かみさまを しんじたしるしである、かつれいを うけなければならぬ。これはかみさまの めいれいだ」というひとたちがいました。そのひとたちは かみさまを しんじたのだから がいこくのひとも かつれいを うけなければ かみさまを しんじたことにはならないと いいはじめました。

だいもんだいになってきたので、イエスさまのでしたちは みんなを エルサレムにあつめました。そして、かいぎが ひろかれたのです。

パウロは いいました。「がいこくのひとたちは みんな よろこんで ふくいんを しんじています。それは、ふくいんが ユダヤじんだけのものではなく、せかいじゅうの ひとたちの ものであることの しょうこです。きゅうやくせいしよの おしえは、イエスさまによって じつげんされました。イエスさまは りっぽうに しばられてはならないと おしえられたではありませんか。がいこくのひとを ユダヤじんの ように してはなりません」。

パウロの いけんは かいぎをしていた ひとたちの ところを うごかしました。そして、はなしあいがおわるときには、「りっぽうのなかにある ぐうぞうれいはいを しなないということだけを しっかりと まもっていれば、かつれいを うけるひつようはない」ときまりました。

こけにより、おおくのひとたちが ふくいんを しんじられるようになりました。

●かんがえてみよう

☆パウロたちは はなしあいをするために どこに あつまりましたか。(しとげんこうろく 15:2)

☆そこでは どんなことが はなしあわれましたか。(しとげんこうろく 15:6)

☆はなしあった けっか、どのように きまりましたか。(しとげんこうろく 15:20)



なむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりますが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

あべこのいほうじん

て		ほ		う			い	べ
				ほ	い			う
		べ						
ん	じ	い						
				す	の	ん	う	じ
		う	ん	べ	じ	ほ	て	い
べ							ほ	の
う	い	ん	じ	の			べ	て
の	ほ			い	べ	う	じ	ん

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① かにかえるたちみ
- ② うんかしゅぜい
- ③ ぞくうう
- ④ いれかつ

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「指定席」

例えば新幹線に乗る場合、全席指定でなかったとしても確実に座れる指定席を取ります。遠距離の特急の場合も指定席が確保できているかいなかでは、安心度が違って来るからです。最近はいつでもアプリを使って取ることができ、席を指定することも可能です。そのため、乗換駅の階段がどこにあるかを前もって分かっていたら、そこに近い席を取り、移動を楽にすませることもできるようになりました。ほんとうに便利です。

さて、新横浜で関西方面に行く場合、1号車は先頭です。これは東京が起点の「下り」だからだと思っていました。ですから、逆の西から新横浜に向かう場合には「上り」で、1号車は最後部車両になるわけです。ところが、ある時、上越新幹線に乗っていて「あれ?」と思いました。東京に向かう「上り」なのに、1号車が先頭なのです。「最後部ではないのか? 東京が起点じゃなきゃ、どこが起点になるんだ」との疑問がわいてきたわけです。そして、調べてみると、意外に複雑であることが分かりました。東京が基準で「上り」「下り」となっている、路線によって並びが違うのだそうです。中央線快速も「下り」なのに東京寄りが1号車になってました。基準の違いは大違いに結びつきます。価値観も同じ。

聖書ふれあい街歩き

●神の箱の行き先 6

「主の箱」は神の臨在を表す象徴物、その取り扱いについては神に対してどのような姿勢で臨むかが問われるわけで、ペリシテ人も、そしてベト・シエメシュの人々も畏敬の念が足りませんでした。その姿勢を悔い改めるのではなく、恐れだけを抱いてしまい、神を捨てるような行為に出てしまったことは、彼らに祝福を失う結果をもたらします。

ベト・シエメシュの人々から事情を聞いたキルヤト・エアリムの人々は受け入れを決めます。最初に主の箱が置かれていたシロに戻さなかったのは、ペリシテとの戦いで町全体が疲弊していたからだと考えられます。ベト・シエメシュへの移動の際に何も問題がなかったようですから、少なくとも不遜な態度ではなく、神の箱の意味をしっかりと理解し、適切な方法を持って運んだに違いありません。そして、「アビナダブの息子エレアザルを聖別して、主の箱を守らせた」(サムエル上 7:1)のでした。レビの家系であったかどうかは書かれていませんが、名前から、その可能性は高いと思います。この町は神殿の奉仕をしていたギブオン人も住んでいました。おそらく、そのような信仰が培われていたのかもしれませんが。

ななめ聖書 先週のこたえ

じ	し	て	の	ぶ	あ	た	で	ん
で	の	ん	て	し	た	あ	じ	ぶ
ぶ	あ	た	ん	で	じ	の	し	て
て	で	し	あ	た	ぶ	ん	の	じ
ん	ぶ	の	じ	て	で	し	た	あ
あ	た	じ	し	の	ん	ぶ	て	で
の	て	ぶ	で	あ	し	じ	ん	た
た	ん	で	ぶ	じ	の	て	あ	し
し	じ	あ	た	ん	て	で	ぶ	の

①ぜうすのしんでん

②りかおにあ

③ほうげん

④いけにえ



ローマに向かうパウロ

しかし、パウロの姉妹の息子が、この待ち伏せのことを耳にし、兵営の中に入って来て、パウロに知らせた。

パウロは百人隊長の一人を呼んで言った。「この若者を大隊長のところへ連れて行ってください。お知らせしたいことがあるそうです。」

そこで百人隊長は、若者を大隊長のもとに連れて行き、こう言った。「囚人パウロが私を呼んで、この若者をこちらに連れて来るようにと頼みました。申し上げたいことがあるそうです。」

大隊長は、若者の手を取って人のいない所へ行き、「知らせたいことは何か」と尋ねた。

(使徒言行録23:16~19)



連行されるパウロ

【大隊長の行動】

大隊長がいたわけですから、ローマ軍の大隊、つまり1000人規模の兵士が駐屯していたことが分かります。1000人隊は約100人ごとの小隊が10隊集まって組織されており、それぞれが交代して勤務をしていました。ですから百人隊長は少なくとも10人いたわけですから。「百人隊長の一人」との表現は、それを表しています。百人隊長はそれなりの立派な武具を身に着けていますので、すぐにわかったはずですよ。

パウロのおいがどのようにして兵営の中に入り込んだのかは分かりません。要人であるパウロを守っている兵士が大勢いるのに、パウロに近づいたのは不思議です。これも神のご加護としか言いようがありません。実際に、ペトロが牢獄に入れられた際、番兵がいながらも「主の天使が牢の戸を開け、彼らを外に連れ出し」ていますので(使徒5:19)、同様のことが起こっていたのでしょうか。

パウロはその報告を聞くやいなや、百人隊長を見つけ出し、「この若者を大隊長のところに連れて行ってくれ」と頼みます。急を要していたからです。

百人隊長はその要請を拒みませんでした。そして、大隊長のところに連れて行きます。大隊長はその雰囲気では何かを察したのか、「若者の手を取って人のいない所へ行き」ました。

大隊長までたどり着くまでのスムーズさ、そして大隊長の名も知らぬ若者と接する態度。当たり前のように見えますが、当たり前のことではありません。

さきほども記したように、警備が厳しいのにもかかわらず、なぜこうも簡単に大隊長のところま

で案内され、しかもいい加減な取り扱いではなく、重要な案件として受け止められたのでしょうか。たとえば、私たちが重要な情報をつかんだとして、それを伝えるために総理大臣に会いに行こうと考え、首相官邸に行くようなものです。会って話すなどもってのほかで、首相官邸の入口で、追いつかれないのが目に見えています。

私が出版社に勤めていた時、「小錦がクリスチャンらしいから、本人と会って取材してくるよう」にとの指示を受けました。ところが、小錦に会う前に「日本相撲協会」に許可を申請し、取材とのことなので「NHK」に承諾をしてもらい、「所属する高砂部屋の親方」に許可してもらい、最後に「本人」が承諾し、はじめて取材が可能になるとの段取りがあることを知りました。もう最初の「日本相撲協会」で断られてしまいました。今はどうなのか分かりませんが、あえなく撃沈です。NHKにはたどり着きませんでした。別件の取材で「大草原の小さな家」のステール写真を貸してほしいと申し出た時、手続きをする中で非常にいやな思いをし続け、最後にNHKに行って写真を受け取る時も投げ捨てるようにして渡されましたから。あまり良い印象がありません。

余計な話になってしまいましたが、何を言いたいのかというと、神が道を開かれたとしか言えない奇跡であるということです。さきほどのペトロの脱獄は「牢にはしっかり鍵がかかっていたうえに、戸の前には番兵が立って」いたのです。

私たちの前に、さまざまな障害物、乗り越えられないような課題があったとしても、それをいとも簡単に乗り越えられるようにしてくださる。それが私たちの信じている神です。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えます。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が異なるため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2026年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過すために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

顕現節(1/6～#2/17)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#2/15)として守ります。

四旬節(#2/18～#3/28)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#2/18)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#3/29～4/4)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#3/29)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/2)、十字架にかかれた受難日(#4/3)と過ごしていきます。

復活節(#4/5～#5/23)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/5)から始まります。春分の日後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/14)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日 #5/17)となります。

聖霊降臨節(#5/24～#11/28)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#5/24)から

始まり、三位一体主日(#5/31)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/29～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/20)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/10・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/14・6月第二)
父の日(6/21・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/22・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・木)
成人祝福礼拝(#1/11・1月第二)
聖書愛読週間(#3/22～28)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/29)
最後の晩餐集会(#4月2日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/14・6月第二)
弾圧記念礼拝(#6月28日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月5日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/13・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/1・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・木)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙 2:5:17 など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ~ 20 など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記 15:26 など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙 1:5:51 など)

教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦

牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

